第３回　河川レンジャー大阪ブロック運営会議（R8.3.2）
資料－5

令和８年度 淀川管内新規河川レンジャー展開計画　大阪ブロック（案）

目　次

１．新規河川レンジャー展開計画について　・・・・・・・・・・・・・・・　1
２．各視点で整理した活動分野と令和８年度展開計画（案）　・・・・・・　3
３．福島出張所管内における展開計画検討資料　・・・・・・・・・・・・　5
４．毛馬出張所管内における展開計画検討資料　・・・・・・・・・・・・　9
５．枚方出張所管内における展開計画検討資料　・・・・・・・・・・・・　13
６．高槻出張所管内における展開計画検討資料　・・・・・・・・・・・・　18
〔巻末資料〕令和７年度淀川管内河川レンジャー活動分布図　・・・・・・　22

1. 新規河川レンジャー展開計画について

（１）目的

新規河川レンジャー展開計画（以下、展開計画）とは、河川レンジャー大阪／京都ブロック運営会議（以下、運営会議）において、所属する河川レンジャーの活動状況等を踏まえ、運営会議の対象区域に望ましい活動内容と活動エリア、必要な河川レンジャーの人員を検討・決定する年度毎の計画であり、河川レンジャーの募集・決定の基準となるものです。

運営会議は、この展開計画について討議、決定する役割を担っています（運営要領第 59 条）。

（２）河川レンジャーの活動範囲と活動分野

①活動範囲について

河川レンジャーは、淀川河川事務所が管轄する範囲（7 つの出張所が分担して管理）を基本に、その沿川地域も含めて活動を行うことができます。

河川レンジャーはそれぞれ運営会議に所属しており、その運営会議を構成する出張所の管理範囲をあわせたものが河川レンジャーの活動範囲となります（運営要領第 8 条）。

また、河川レンジャーは、本来の活動範囲以外の場所でも活動を行えるよう、活動範囲の拡大も認められています。

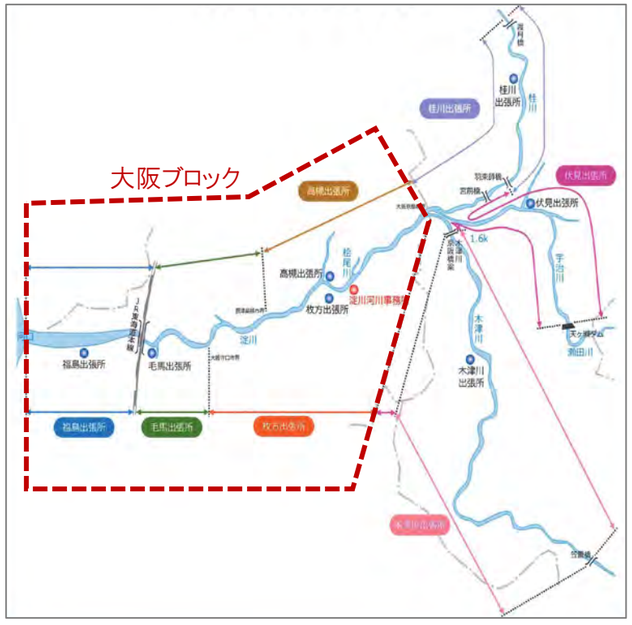


図 1.1　大阪ブロック運営会議管轄範囲

②活動分野について

河川レンジャーが行う活動については、運営要領に以下の 10 項目の内容が定められています（運営要領第 11 条）。

河川レンジャーの活動内容

（１）防災・救援・救難の推進を図る活動
（２）河川の環境保全を図る活動
（３）河川の適正な利用の推進を図る活動
（４）節水意識の普及・啓発活動
（５）日常的な河川管理活動
（６）河川に係わる歴史・文化の普及・啓発活動
（７）河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動
（８）川づくり・まちづくりへの参画・支援活動
（９）川の人材を育成する活動
（10）淀川管内河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信

展開計画では、これらの活動内容について、河川レンジャー自身が貢献したと考えている活動分野を以下の 6 つに分類整理しています。

表 1.1　展開計画で用いる河川レンジャーの活動分野の分類

活動分野	活動事例
治水・防災	河川管理施設の学習会、水害・水防工法の体験学習、マイ防災マップづくり、避難活動
環境保全	自然観察、外来種の除去、生物調査、水質調査
河川利用	河川利用者への安全指導、不法投棄・不法工作の把握、節水意識の啓発、Ｅボート体験
維持管理	清掃活動、水辺の安全利用点検、河川管理施設等の異常箇所の把握
歴史・文化	河川に係わる史跡の探訪、歴史・文化講座
川づくり・人づくり	ワークショップ、意見交換会、ジュニア河川レンジャーの養成、河川愛護団体の創出

（３）展開計画における河川レンジャーの人員

河川レンジャーの人員は、出張所ごとに若干名と定められています（運営要領第 19 条）。

現在１出張所あたり最大５名を目安とした運用を行っています。

各出張所管内に在籍する河川レンジャーは５名程度を目安に募集を行っており、最大５名を超えないように運用してきましたが、近年、志望者に対し募集枠を超えていたり、希望出張所では募集が無かったりする等、諦めざるを得ない事例が目立っています。よって、人材の流出を防ぐため、河川レンジャーの人員を出張所あたり６名までを目安として運用することとします。

ただし、6 人目は、河川レンジャーとして実施したい活動が、展開計画の活動内容等における“望ましい分野”のいずれかを含む方を対象とします。

（４）河川レンジャーの募集人数

地域における河川レンジャー活動の継続という観点から、河川レンジャーの任期について確認し、令和８年度の河川レンジャーの募集人数について検討します。

現在の河川レンジャーのキャリア、今後の見通しをふまえた令和８年度の募集人数は以下の通りです。なお、令和８年度に任命された河川レンジャーは、令和９年度から自身が計画する活動を開始します。

募集人数は、毎年度 1～2 名程度の新規河川レンジャーを募集することで、在籍人数 4～5 名程度を維持し、地域にとって望ましい活動が継続できるよう検討します。

なお、募集人数を確定する時点において、辞任や転籍の意向を把握調整した上で、最終的な募集人数を確定します。

表 1.2　河川レンジャーの在籍状況と令和 8 年度募集人数

所属	氏　名	任命年	キャリア（R8.4月時点）	R9（予定）	R8 在籍者数	R8 募集人数	募集人数について
福島	兒玉　曜子	R5	2年目（1期2年目）		3	1	R8年度は3名が在籍しており、R9年度も3名体制が継続されますが、今後の活動継続の観点から1名を募集します。
	白川　公彦	R6	1年目（1期1年目）				
	西畑　緑	R7	試行期間				
毛馬	伊藤　茂	H29	8年目（特例再任2期2年目）		2	2	R8年度は2名が在籍していますが、R8年度に1名が任期満了を迎え、R9年度は1名体制となるため、活動継続と拡大の観点から2名を募集します。
	波戸　睦	R6	1年目（1期1年目）				
枚方	道場　明子	R1	6年目（特例再任1期2年目）		4	1	R8年度は4名が在籍していますが、R8年度に1名が任期満了を迎え、R9年度は3名体制となるため、活動継続の観点から1名を募集します。
	岡村　雅広	R4	3年目（2期1年目）				
	天野　康生	R5	2年目（1期2年目）				
	土井　宣史	R7	試行期間				
高槻	杉本　真一	R1	6年目（特例再任1期2年目）		5	1	R8年度は5名が在籍していますが、R8年度に2名が任期満了を迎え、R9年度は3名体制となるため、活動継続の観点から1名を募集します。
	竹本　克巳	R3	4年目（2期2年目）				
	奥山　佳一	R6	1年目（1期1年目）				
	小林　勝男	R6	1年目（1期1年目）				
	竹本　晃佑	R7	試行期間				
合　計					14	5	

※上記は満期までの活動を想定（試行期間を含め 5 年間）。
　キャリアは試行期間を除く年数を記載。

凡例　試行期間　第1期　第2期　特例再任第1期　特例再任第2期

（５）令和 8 年度展開計画の考え方　～地域に望ましい活動内容と活動エリア～

河川レンジャーの役割は、河川と地域との良好な関係を構築することです。

展開計画の作成にあたっては、地域と河川レンジャーの状況の両面から検討する必要があるため、２つの視点から活動の展開の方向を整理します。

視点１　地域が求めていると考えられる活動

河川レンジャーには「住民と行政の橋渡し役」となることが期待されるため、自治体との連携や協働の可能性という観点も重要です。そこで、沿川自治体で展開されている総合計画等から地域の課題やニーズを把握することで、地域で望ましいとされている活動分野を整理します。

また、河川管理者のニーズを把握することを目的として、淀川河川事務所で進められている河川事業や川の課題を整理するとともに、地域住民のニーズの把握を目的として、アンケート調査結果から河川レンジャーに求められる活動を整理します。

[1] 地域づくりの最上位計画に相当する自治体の総合計画等から地域の課題を抽出し、自治体との連携・協働の可能性という観点も含めて地域で望まれている河川レンジャー活動を整理します。

[2] 河川事業への貢献や連携に繋がる活動を抽出するため、淀川河川事務所が推進している事業等から河川レンジャーが連携を図るに相応しい事業や活動分野を整理します。

[3] 河川管理者と河川レンジャーの意見交換会や現地視察研修で抽出された川の課題等から、課題解決に向けて河川レンジャーが連携を図ることが望ましい活動分野等を整理します。

[4] アンケート調査を実施することで、地域住民の河川レンジャー活動に対するニーズを幅広く収集し、今後の河川レンジャーに求められる役割を整理します。

また併せて、河川利用において地域から望まれている活動を抽出するため、淀川管内河川保全利用委員会資料から河川レンジャーとの連携・協働が求められている地域や活動分野を整理します。

視点2　河川レンジャーの活動状況から効果的（継続が必要）と考えられる活動

河川レンジャーは平成 15 年度にスタートしており、すでに地域に根ざしたものとなってきています。このため、これまでの活動状況などをふまえた展開計画の検討が必要です。

[5] これまでの河川レンジャーの活動状況から、活動が展開されてきた分野や地域を整理し、継続性などを踏まえて今後も展開することが効果的な活動分野を抽出整理します。なお、抽出に際しては来年度に実施予定の活動分野や地域についても整理し、検討のベースとします。

2. 各視点で整理した活動分野と令和 8 年度展開計画（案）

（１）地域が求めていると考えられる活動【視点１　整理結果】

各出張所管内において、地域が求めていると考えられる活動分野は以下のとおりです。

表 2.1　地域が求めていると考えられる活動分野

視点の内容	出張所			
	福島	毛馬	枚方	高槻
[1]沿川自治体との連携や協働の観点から望ましい活動分野	①川・人づくり ②治水・防災 ③環境保全	①川・人づくり ②環境保全 ③治水・防災	①治水・防災 ②環境保全 ③川・人づくり	①環境保全 ①川・人づくり ③治水・防災 ※1 位同数
[2]淀川の河川事業やかわまちづくりとの連携に相応しい活動分野	治水・防災 河川利用	治水・防災 河川利用 歴史・文化	治水・防災 環境保全 河川利用 川・人づくり	治水・防災 環境保全
[3]川の課題解決に向けた取り組みが望ましい活動分野	環境保全 維持管理	環境保全 河川利用 維持管理	環境保全 河川利用 維持管理	環境保全 河川利用 維持管理
[4]アンケート結果から得られた地域のニーズが高い活動分野	①治水・防災 ②歴史・文化 ③環境保全	①治水・防災 ②歴史・文化 ③環境保全	①歴史・文化 ②環境保全 ③治水・防災	①歴史・文化 ②治水・防災 （注１）
地域が求めていると考えられる活動分野 ※[1]と[4]については、最も関連性やニーズが高い分野①を抽出	**治水・防災** **環境保全** 河川利用 **維持管理** 川・人づくり	**治水・防災** **環境保全** 河川利用 維持管理 **歴史・文化** **川・人づくり**	**治水・防災** **環境保全** **河川利用** **維持管理** 歴史・文化 **川・人づくり**	**治水・防災** **環境保全** 河川利用 維持管理 **歴史・文化** 川・人づくり
〔参考情報〕 河川保全利用委員会において河川レンジャーとの連携が望まれている活動分野	無し	環境保全 川・人づくり	環境保全 川・人づくり	無し

※［1］の〇数字は自治体における関連施策等が多い活動分野の順位

［4］の〇数字はアンケート結果から地域のニーズが高い活動分野の順位

（注１）高槻管内のアンケート結果においては、3 位に同数で多くの分野があったが、①、②との回答数の差が大きく、順位付けに馴染まないため 3 位以下は整理対象外としました。

（２）河川レンジャーの活動状況から効果的（継続が必要）と考えられる活動

各出張所管内において、これまでの河川レンジャーの活動状況から効果的と考えられる活動分野は以下のとおりです。

表 2.2　河川レンジャーの活動状況から効果的と考えられる活動分野

視点の内容	出張所			
	福島	毛馬	枚方	高槻
[5]河川レンジャーの活動状況から効果的と考えられる活動分野	**治水・防災** **環境保全** **維持管理**	**治水・防災** **環境保全** **歴史・文化** **川・人づくり**	**治水・防災** **環境保全** **河川利用** **維持管理** **川・人づくり**	**治水・防災** **環境保全** **歴史・文化**

上記【視点１】【視点２】のとりまとめ結果を踏まえた展開計画（案）を次ページに示します。

表 2.1 及び表 2.2 のアンダーラインは、視点１と視点２に重複する分野を示している。

なお上記[1]～[5]および参考情報の具体的な内容については 5 ページ目以降に出張所別にまとめています。

（３）令和８年度河川レンジャー展開計画（案）

これまでの整理結果を踏まえ、令和８年度の展開計画（案）は以下のとおりとします。

活動区域は、各管内での河川レンジャーの活動状況から活動を望むべき区域を示したものであり、展開計画（案）に示す活動内容等において、“抽出された分野”は【視点１】または【視点２】で整理された活動分野を広く記載し、“なかでも望ましい分野”は【視点１】と【視点２】で重複した分野を示しています。

表 2.3　令和８年度展開計画（案）（１／２）

管内	募集人数	活動区域	活動内容等
福島	１名	全域	抽出された分野は「治水・防災」「環境保全」「河川利用」「維持管理」「川づくり・人づくり」です。 なかでも、自然災害への備えについて地域のニーズが高く継続的に広く活動が展開されている「治水・防災」、ヨシ原や干潟の保全・利活用が川の課題として挙がっている「環境保全」、不法投棄対策など川の課題解決に向けた取組の推進が求められている「維持管理」の３分野を望ましい分野とします。 **【具体的な活動イメージ】** 【治水･防災】 防災に関する知見をもとに、自然災害への備えの必要性などをわかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動 【環境保全】 河川環境に関する知見をもとに、川の魅力などをわかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動や自然観察会等の水辺に親しむ活動 【維持管理】 河川美化･ごみを捨てないマナーアップの活動 【河川利用】 水辺の安全指導を行う活動 【川づくり･人づくり】 川に関わる人材を育成する活動 【全活動分野】 個人･団体（地元自治会等）･企業･行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動
毛馬	２名	全域	抽出された分野は「治水・防災」「環境保全」「河川利用」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」です。 なかでも、自然災害への備えについて地域のニーズが高く学校からの依頼による防災学習が展開されている「治水・防災」、定点撮影、モニタリング調査、外来種防除等によるワンド保全活動の継続が望ましい「環境保全」、舟運の歴史を伝える語り部などの活動の充実化が望まれる「歴史・文化」、地域と連携した川づくりに継続して取り組むための「川づくり・人づくり」の４分野を望ましい分野とします。 **【具体的な活動イメージ】** 【治水･防災】 防災に関する知見をもとに、自然災害への備えの必要性などをわかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動 【環境保全】 河川環境に関する知見をもとに、川の魅力などをわかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動や自然観察会等の水辺に親しむ活動。また、外来種防除など河川環境を保全する活動 【歴史･文化】 地域の歴史･文化に関する知見をもとに、川の魅力などをわかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動 【川づくり･人づくり】 河川の整備に関するワークショップ、川に関わる人材を育成する活動 【河川利用】【維持管理】 河川美化･マナーアップの活動 【全活動分野】 個人･団体（地元自治会等）･企業･行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動

表 2.4　令和８年度展開計画（案）（２／２）

管内	募集人数	活動区域	活動内容等
枚方	１名	寝屋川市域では河川レンジャーアドバイザーが中心となり活動されているが、継続的な活動とすべく、寝屋川市域を望むべき活動区域とします。 また守口市での活動はやや少ない状況にあり、今後の活動の活性化と継続性を確保する観点から、守口市域を望むべき活動区域とします。	抽出された分野は「治水・防災」「環境保全」「河川利用」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」です。 なかでも、自然災害への備えや淀川の環境、安全な利用についての学習などで地域から高いニーズがある「治水・防災」「環境保全」「河川利用」、不法投棄対策など川の課題解決に向けた取り組みの推進が求められている「維持管理」、点野ワンドにおいて地域と連携した川づくりが継続的に実施されている「川づくり・人づくり」の５分野を望ましい分野とします。 **【具体的な活動イメージ】** 【治水･防災】 防災に関する知見をもとに、自然災害への備えの必要性などをわかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動 【環境保全】 美しい環境について学び、守り育てる活動や自然観察会等の水辺に親しむ活動。また、外来種防除など河川環境を保全する活動 【河川利用】 水辺の安全指導を行う活動 【維持管理】 河川美化･ごみを捨てないマナーアップの活動 【川づくり･人づくり】 河川の整備に関するワークショップ、川に関わる人材を育成する活動 【歴史･文化】 地域の歴史･文化に関する知見をもとに、川の魅力などをわかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動 【全活動分野】 個人･団体（地元自治会等）･企業･行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動
高槻	１名※	全域	抽出された分野は「治水・防災」「環境保全」「河川利用」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」です。 なかでも、地域のニーズが高く学校や公民館等と連携した出前講座が継続的に行われている「治水・防災」「環境保全」、活動は少ないものの地域のニーズが高く、水害の歴史について学ぶ歴史探訪等をきっかけに地域の防災力向上なども期待される「歴史・文化」の３分野を望ましい分野とします。 **【具体的な活動イメージ】** 【治水･防災】 防災に関する知見をもとに、自然災害への備えの必要性などをわかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動 【環境保全】 美しい環境について学び、守り育てる活動や自然観察会等の水辺に親しむ活動 【歴史･文化】 地域の歴史･文化に関する知見をもとに、川の魅力などをわかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動 【河川利用】 水辺の安全指導を行う活動 【維持管理】 河川美化･ごみを捨てないマナーアップの活動 【川づくり･人づくり】 河川の整備に関するワークショップ、川に関わる人材を育成する活動 【全活動分野】 個人･団体（地元自治会等）･企業･行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動

※管内６人目の募集であることから、河川レンジャーとして実施したい活動が、展開計画の活動内容等における“望ましい分野”のいずれかを含む方を対象とします。

3. 福島出張所管内における展開計画検討資料

（１）沿川自治体で推進されている事業等【視点１】

大阪市の総合戦略および沿川各区の将来ビジョンでは、人と人との繋がりによる“地域コミュニティの活性化”や、災害対応力の向上、防災・減災対策の推進といった“安全・安心なまちづくり”、にぎわいと緑化関連施策の充実や地域資源・ポテンシャルを活かした“魅力的なまちづくり”などの取り組みが進められており、地域コミュニティの形成や地域防災力の向上、自然環境の保全などが課題となっていると考えられます。

河川レンジャーの活動としては、最も重視する分野として「川づくり・人づくり」分野での展開が、次いで「治水・防災」「環境保全」分野での展開が考えられます。

表 3.1　河川レンジャーとの連携が期待できる沿川自治体の事業等と分野

自治体名	計画名（策定年月）【計画期間】	具体的な取り組み内容	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川・人づくり
大阪市	大阪市未来都市創生総合戦略（R7.3 改訂）【R6～R10年度】	地域の安全・安心に向けた取組の推進	●					●
		地域の実情に即した特色ある施策展開と地域コミュニティの活性化						●
		大阪経済の活性化（公園の整備・リニューアル・利活用や歴史的建築物の活用等、地域資源を活かした歴史的・文化的なまちなみの魅力を創出）			●		●	
		環境先進都市大阪の実現		●				
西淀川区	西淀川区将来ビジョン2025（R7.2）【概ね今後の４年間】	健康で安心・安全な地域づくり（災害対応力の高いまちをめざす）	●					●
		魅力と活気あふれるまちづくり		●		●		
淀川区	淀川区将来ビジョン2025（R7.2 改訂）【R4～R7年度】	安全で安心なまちづくり（防災・減災対策）	●					
		人と人がつながりにぎわいと魅力あふれるまちづくり（地域コミュニティの活性化、魅力的なまちづくりの推進）	●	●	●	●	●	●
此花区	此花区将来ビジョン2027（R6.12）【R6～R9年度】	地域コミュニティの活性化（地域が自ら、地域を取り巻く社会環境の変化など複雑多様化する地域課題に対応でき、日常および非日常時において共助が成立し、暮らしやすい地域を創り出していくことができる状態）	●	●	●	●	●	●
		安心・安全・きれいで環境課題に取り組む街（①災害が発生又は発生する恐れがある場合に、全ての区民が自助・共助・公助により適切に避難ができる状態 ②街がきれいであり、区民や区内企業の環境問題への取組が進んでいる状態）	●	●		●		●
福島区	福島区将来ビジョン（R4.3）【R4～R7年度】	人と人とがつながるまちづくり（地域活動支援関連施策の充実）	●	●			●	●
		安全・安心なまちづくり（防災と防犯関連施策の充実）	●					●
		魅力あふれるまちづくり（にぎわいと緑化関連施策の充実）		●				●
北区	北区将来ビジョン2025～2034（R7.3）【R7～R16年度】	安全・安心を身近に感じられるまち	●					●
		地域資源やポテンシャルを活用し、持続可能で魅力的なまち（地域コミュニティの活性化）	●	●	●	●	●	●

（２）河川管理者等によって進められている河川事業等【視点１】

① 阪神なんば線淀川橋梁改築

淀川本川の洪水・高潮対策として、平成 30 年度より阪神なんば線淀川橋梁改築事業の工事が実施されていることから、工事の見学会や学習会など「治水・防災」に関する活動展開が考えられます。

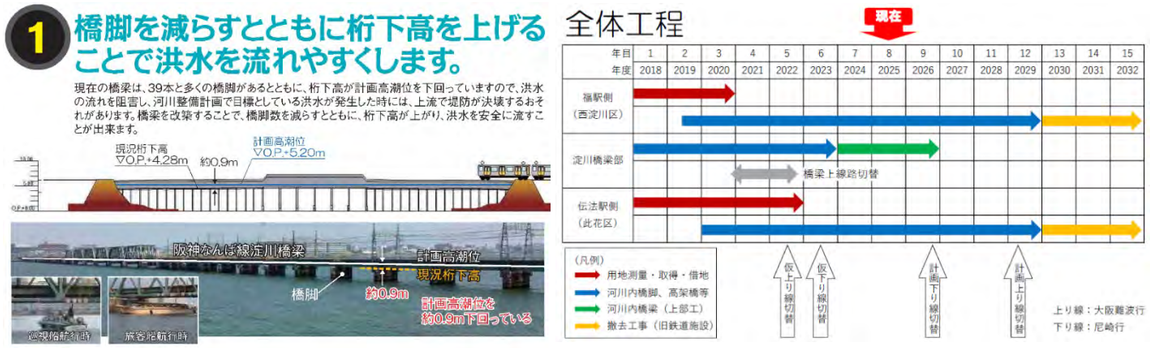


図 3.1　阪神なんば線淀川橋梁改築事業の概要



図 3.2　阪神なんば線淀川橋梁の現在の状況と整備イメージ
（阪神なんば線淀川橋梁改築事業パンフレット／事業進捗報告(2025.10)より抜粋）

② 十三地区船着場整備

災害発生時には舟運が重要な役割を果たすことが期待されており、淀川では震災などに備えて緊急用船着場の整備が進められています。

福島出張所管内では、十三地区において「十三緊急用船着場」が令和 6 年度に完成し、令和 7 年度には大阪・関西万博会場まで来場者を輸送する社会実験が実施されました。また、周辺自治体と連携した船着場を拠点としたまちづくりなども進められていることから、今後、河川レンジャーにおいては船着場や舟運と連携した「河川利用」に関する活動展開が考えられます。



図 3.3　十三船着場の整備・利用状況と周辺整備イメージ
（淀川河川事務所記者発表資料／R7・R6 年度事業概要より抜粋）

（３）意見交換会等で抽出された川の課題【視点１】

河川管理者と河川レンジャーによって実施されている「意見交換会」や「川の現地視察研修」で抽出された川の課題等から、河川レンジャーが連携を図ることが望ましい活動分野を整理します。

① 福島出張所管内 意見交換会

令和７年６月 17 日（火）に福島出張所において実施。

② 福島出張所管内 川の現地視察研修

令和７年 11 月 20 日（木）に福島出張所管内の福エリア、西島水門、伝法陸閘等において実施。

令和７年度の意見交換会および川の現地視察研修で共通認識とされた川の課題、川の課題に関する主な意見等、課題解決に向けた活動状況は以下のとおりです。

表 3.2　川の課題と課題解決に向けた活動状況など

川の課題	川の課題に関する主な意見等	課題解決に向けた活動状況（実施予定を含む）
不法投棄の防止	日本に居住していると思われる外国人による禁止エリアでのバーベキューのゴミの不法投棄について報告が上がっている。	河川清掃やマナーアップの取り組みを継続している。
迷惑行為の防止（橋脚や河川管理施設等への落書き）	福町や西島水門のあたりには駐車場所がないので路上駐車によるトラブルが発生している。また、河川敷にごみの不法投棄があり、堤防や陸閘の壁面への落書きがなされている。	伝法陸閘（左岸ゲート）に児童の絵画を掲示した。 （R6 年度５月に活動終了）
新北野ヨシ原保全	新北野ヨシ原では、昨年のなにわ淀川花火大会の際にシートがかぶせられヨシが倒れてしまっていたため、今年はヨシが倒されないよう事業者への呼びかけが必要。	新北野のヨシ原清掃・ヨシの生長記録を継続している。 花火大会時のシートによるヨシの倒伏については事業者への対策の検討を来年度は指示予定。

以上より、当出張所管内での川の課題解決に向けた取り組みとしては、「環境保全」「維持管理」分野での活動展開が望ましいと考えられます。

（４）地域住民のニーズ【視点１】

① アンケート調査の概要

河川レンジャー活動のニーズ把握のため、インターネットを利用して実施したアンケート調査結果から、河川レンジャー活動のニーズを整理します。

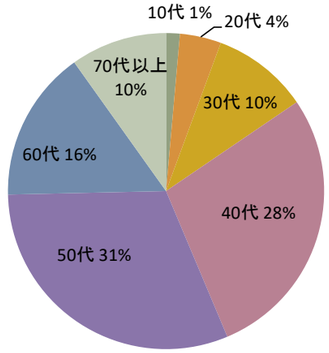
表 3.3　アンケート調査概要

項目	内容
調査期間	令和８年１月 28 日～29 日
調査方法	Web アンケート
調査対象	淀川沿川住民
全回答数	420
管内回答数	71

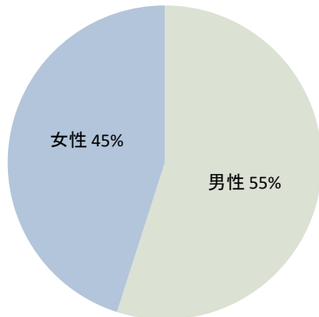
＊分析に必要な標本数については、住民基本台帳人口・世帯数から、「河川に係る環境整備の経済評価の手引き（平成 22 年３月）」による式により算定し、設定した。調査にあたっては、運営会議管内の人口比に対応させて標本数を按分し、収集した。

【福島出張所管内回答者属性】

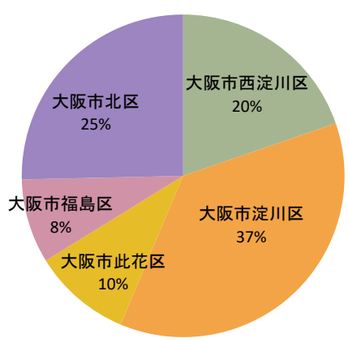
年代別



性別



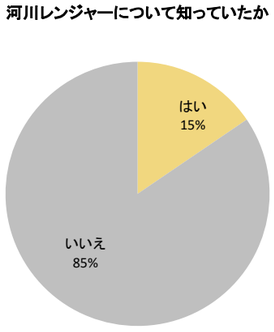
居住地域

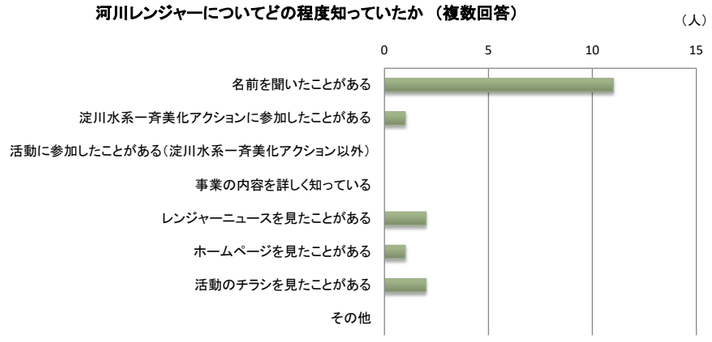


② アンケート調査結果にみる河川レンジャー活動のニーズ

＜河川レンジャーの認知度＞

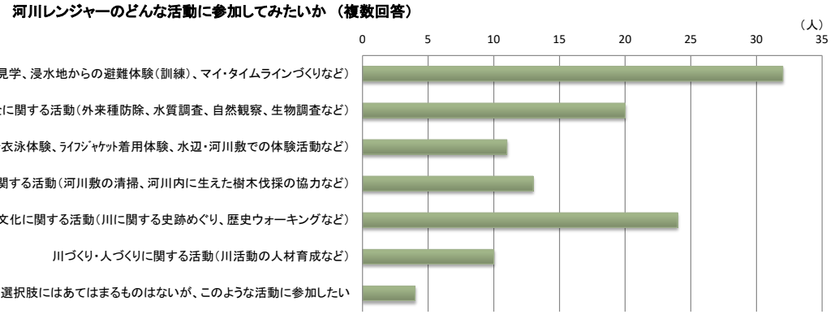
河川レンジャーの認知度は 15%（昨年調査 19%）であり、昨年度よりもわずかに減少しています。なお「名前を聞いたことがある」という方が多数ですが、活動チラシ等を見られた方もいます。





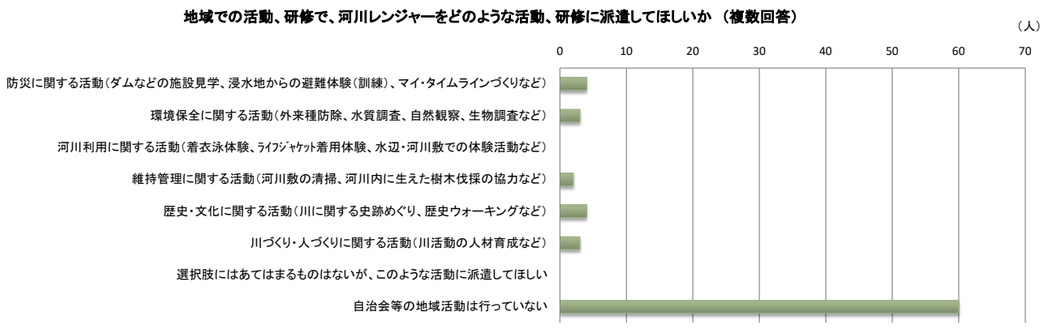
＜参加を希望する活動＞

河川レンジャーの活動内容から抽出した活動メニューに対しては「治水・防災」に関する活動への参加希望が最も多く、次いで「歴史・文化」「環境保全」に関する活動が希望されています。



＜地域活動への支援ニーズ＞

自治会活動等への河川レンジャーの支援ニーズに対しては「治水・防災」「歴史・文化」に関する活動が多くなっています。



（５）河川レンジャーの活動状況【視点２】

①　これまでの河川レンジャー活動状況

福島出張所管内では、河川環境の保全・河川利用マナー啓発のため河川清掃活動が実施されており、企業から CSR 活動への協力依頼がある等、地域ニーズがある活動です。今後も、ゴミを捨てにくい環境づくりの取り組みやゴミを捨てないマナーアップの活動が望まれます。（「維持管理」分野の活動）

また、学校から依頼を受けて干潟での自然観察会や防災学習が実施されており、今後も地域の学校と連携した活動の継続・拡大に向けて、各分野の活動が望まれます。（「治水・防災」「環境保全」分野の活動）

河川レンジャーアドバイザーが、北区、淀川区を中心に、水害に備え、被害の軽減の観点から住民の主体的かつ適切な避難行動の実現に向け、避難訓練への協力、防災の出前授業に取り組んでおり、今後も継続が望ましいと考えられます。（「治水・防災」分野の活動）

その他、自然観察会とあわせて水辺の安全利用指導が実施されています。（「河川利用」分野の活動）

主な活動地域は、大阪市内（北区、西淀川区、淀川区、此花区）です。

活発な活動展開のため、管内のすべての地域で河川レンジャーの配置が望まれます。

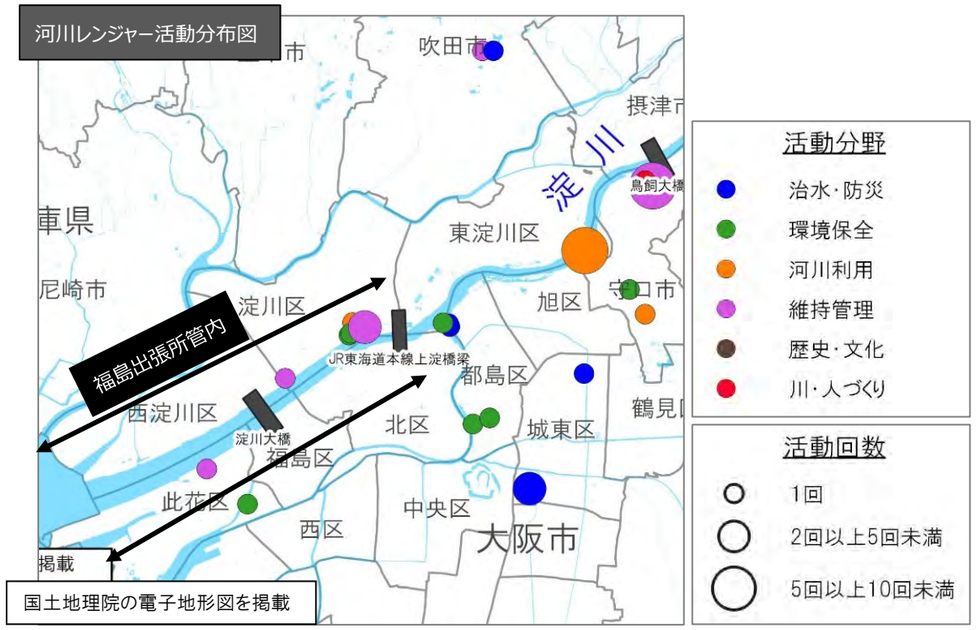
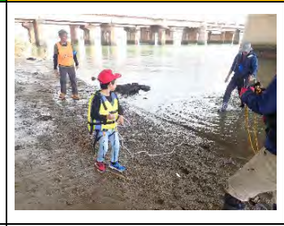


図 3.4　福島出張所管内 河川レンジャー活動分布図

※活動分布図は、河川レンジャーの活動報告をもとに主たる活動分野を事務局の判断で分類し、色で活動分野を、円の大きさで活動回数を示しています。また、上記の図は令和 7 年度（4 月～12 月）に実施された河川レンジャーの活動を対象に作成しています。当該期間においては全管内で 144 回の活動が実施されています。
河川レンジャーアドバイザーのみで実施された活動は回数に含んでいません。
（毛馬、枚方、高槻出張所管内についても同様の条件で作図しています）

表 3.4　福島出張所管内の活動状況

治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理
			
防災学習 （辻川 RA、亀井 RA）	干潟探検 （西岡 RA）	水辺の安全利用学習 （白川 R）	河川清掃 （兒玉 R、白川 R）

※主たる活動分野について、活動内容と取り組みを行っている河川レンジャー名を記載しています。

②　令和 8 年度に活動が予定されている分野と地域

来年度は、当管内で 3 名の河川レンジャーが活動を予定しています。予定されている活動について、主要な活動分野、活動地域を分類整理すると下表のとおりです。

令和 8 年度は「治水・防災」「環境保全」「河川利用」「維持管理」の分野で活動が予定されています。

また、活動地域については大阪市西淀川区、淀川区、東淀川区、都島区などでの活動が予定されています。

表 3.5　福島出張所管内の令和 8 年度河川レンジャー活動予定

氏名	活動名	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり人づくり	行政区					
								大阪市					その他
								西淀川区	淀川区	此花区	福島区	北区	
兒玉　曜子	矢倉緑地公園探鳥会		●					●					
	新北野再生ヨシ原清掃活動（2回）				●			●	●				
	西淀川区マイ・タイムライン	●						●					
白川 公彦	水辺の安全利用			●									● 大阪市
	防災学習	●											● 大阪市
	一斉美化アクション（2回）				●			●					● 東淀川区
	干潟の観察会			●				●					
西畑　緑	汽水域　生き物発見隊　生き物にとって有害なゴミをゼロにする作戦		●					●					
	海抜ゼロメートルでも安心して生活するために	●						●					
	淀川大堰ってなに？川の施設を見てみよう	●											● 都島区
	河川敷をきれいにしよう				●			●					
連携活動	西淀川区淀川右岸クリーン大作戦				●			●					

※複数の分野に取り組む活動は、主要な分野で分類しています。
また、各活動は計画段階のため、活動分野については事務局の判断で分類しています。

4. 毛馬出張所管内における展開計画検討資料

（１）沿川自治体で推進されている事業等【視点１】

大阪市の総合戦略および沿川各区の将来ビジョンでは、“地域コミュニティの活性化”や、防災体制の充実化などによる“安全・安心なまちづくり”、地域資源やポテンシャルを活用した“魅力的なまちづくり”などの取り組みが進められており、地域コミュニティの形成や地域防災力の向上、自然環境の保全などが課題となっていると考えられます。

また摂津市の総合計画では、災害に対する危機管理体制の強化や、河川等の魅力的な空間の保全・活用・緑化推進などの環境保全への取り組みが進められています。

河川レンジャーの活動としては、最も重視する分野として「川づくり・人づくり」分野での展開が、次いで「環境保全」「治水・防災」分野での展開が考えられます。

表 4.1　河川レンジャーとの連携が期待できる沿川自治体の事業等と分野

自治体名	計画名（策定年月）【計画期間】	具体的な取り組み内容	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川・人づくり
大阪市	大阪市未来都市創生総合戦略（R6.3 策定）【R6～R10年度】	地域の安全・安心に向けた取組の推進	●					●
		地域の実情に即した特色ある施策の展開と地域コミュニティの活性化						●
		大阪経済の活性化			●		●	
		環境先進都市大阪の実現		●				
東淀川区	東淀川区将来ビジョン 2022～2026（R4.4）【R4～R8年度】	自助・共助を担う地域力と、にぎわいのある元気なまちづくり		●				●
		安全・安心のまちづくり	●					●
北区	北区将来ビジョン 2025～2034（R7.3）【R7～R16年度】	安全・安心を身近に感じられるまち	●					●
		地域資源やポテンシャルを活用し、持続可能で魅力的なまち（地域コミュニティの活性化）	●	●	●	●	●	●
都島区	都島区将来ビジョン2025（R6.3更新）【R3～R7年度】	防災のまちづくり	●					●
		安全で美しいまちづくり		●		●		
		コミュニティ豊かなまちづくり						●
		魅力あるまちづくり		●	●		●	●
旭区	旭区将来ビジョン2027（R5.3）【R5～R9年度】	コミュニティ活性化のための取組	●	●	●	●	●	●
		地域資源を活用したまちの魅力づくり		●	●		●	
		防災体制の充実	●					●
摂津市	摂津市行政経営戦略/第4次摂津市総合計画（第2次改訂版）（R3.3）【R3～R7年度】	みんなが安全で快適に暮らせるまちづくり（良好な都市計画の形成、災害に対する危機管理体制の強化）	●	●				●
		みどりうるおう環境を大切にするまちづくり（河川や水路の魅力的な空間としての保全・活用、緑化推進）		●	●	●		●

（２）河川管理者等によって進められている河川事業等【視点１】

① 大宮東地区高規格堤防整備

大阪市旭区の大宮東地区では令和５年度から引き続き高規格堤防の整備が進められていることから、工事の見学会や学習会など「治水・防災」に関する活動展開が考えられます。

② 淀川大堰閘門「淀川ゲートウェイ」整備

淀川大堰においては、災害時の陸上交通代替手段としての舟運の活用や、平常時の大規模な資機材・土砂運搬などの公共事業での利活用を目的として淀川大堰閘門「淀川ゲートウェイ」が整備され、令和７年度には大阪・関西万博会場まで来場者を輸送する社会実験が実施されるなど、様々な取り組みが実施されています。ここでは、施設の役割や舟運の歴史等について住民に伝える「河川利用」「歴史・文化」の活動展開が考えられます。

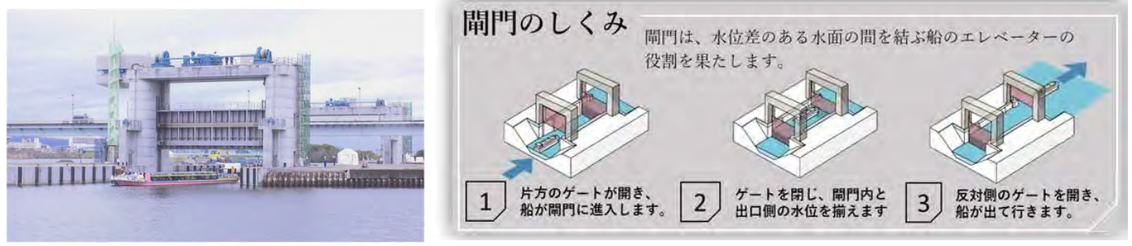


図 4.1　淀川大堰閘門整備状況と概要（淀川河川事務所 R7 年度事業概要より抜粋）



図 4.2　毛馬船着場と淀川大堰閘門の活用状況（淀川河川事務所記者発表資料より抜粋）

③ 鳥飼地区河川防災ステーション整備

摂津市鳥飼地区においては、淀川河川事務所管内では初めての「河川防災ステーション」の整備が進められており、地域と連携した平常時の防災・河川利用の学習等での利活用など「治水・防災」「河川利用」に関する活動展開が考えられます。



図 4.3　鳥飼地区河川防災ステーション整備前の状況と整備イメージ
（淀川河川事務所 R7 年度事業概要より抜粋）

（３）意見交換会等で抽出された川の課題【視点１】

河川管理者と河川レンジャーによって実施されている「意見交換会」や「川の現地視察研修」で抽出された川の課題等から、河川レンジャーが連携を図ることが望ましい活動分野を整理します。

① 毛馬出張所管内 意見交換会

令和７年６月９日（月）に毛馬出張所において実施。

② 毛馬出張所管内 川の現地視察研修

令和７年 12 月１日（月）に毛馬出張所管内の毛馬排水機場、淀川ゲートウェイ等において実施。

令和７年度の意見交換会および川の現地視察研修で共通認識とされた川の課題、川の課題に関する主な意見等、課題解決に向けた活動状況は以下のとおりです。

表 4.2　川の課題と課題解決に向けた活動状況など

川の課題	川の課題に関する主な意見等	課題解決に向けた活動状況（実施予定を含む）
鳥飼ワンドの保全・利活用	鳥飼ワンド1号で外来水草であるオオバナミズキンバイと思われる水草を確認した。 鳥飼ワンドでのモニタリング時などにおいて、進入路の草刈りが必要となることがあるため、砂利や竹のチップを敷き詰めるなど何か対策ができないか。	ワンドの良好な環境を保全していくため、定点観察や生き物のモニタリング、外来水草の除去活動、河川清掃等を継続していく。
鳥飼ワンド周辺の水辺の安全利用	小学生等による鳥飼ワンドでの釣りや、ワンドでの遊泳の報告が上がっている。 鳥飼ワンドは再整備後に見通しがよくなりワンドへのアクセスも容易になったため、利用者に注意を促す看板を設置する等の安全対策が必要。（河川利用のマナーアップや環境保全への協力の呼び掛けも必要。）	看板等の設置にあたり、河川レンジャー活動でも内容を検討し、河川管理者に提案する。
赤川ワンドの保全	赤川ワンドは外来水草が繁茂し環境が悪化している。また、周辺には、ゴミの不法投棄がみられる。 赤川ワンド周辺では令和元年頃まではレンジャー活動が行われていたが、現在は外来種や草木が繁茂している状況にあるため、河川レンジャーのみで保全活動を行うのは困難であり、自然観察会を実施するにも周辺の草刈り等の整備が必要。	外来水草の除去、河川清掃等の活動を予定している。
河川利用のマナーアップ	不法占用や不法工作物（釣り桟橋の設置等）が見受けられる。	河川清掃や河川利用者へのマナー啓発に取り組む。（活動時に各レンジャーが取り組む。）
河川管理施設への理解を深める	DX センターにはモニターがある他、AR の体験ができる。レンジャー活動で活用してはどうか。	施設見学や DX センターを活用した活動を今後検討していく。

以上より、当出張所管内での川の課題解決に向けた取り組みとしては、「環境保全」「河川利用」「維持管理」分野での活動展開が望ましいと考えられます。

（４）地域住民のニーズ【視点１】

① アンケート調査の概要

河川レンジャー活動のニーズ把握のため、インターネットを利用して実施したアンケート調査結果から、河川レンジャー活動のニーズを整理します。

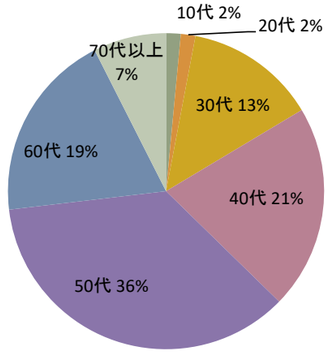
表 4.3　アンケート調査概要

項目	内容
調査期間	令和８年１月 28 日～29 日
調査方法	Web アンケート
調査対象	淀川沿川住民
全回答数	420
管内回答数	67

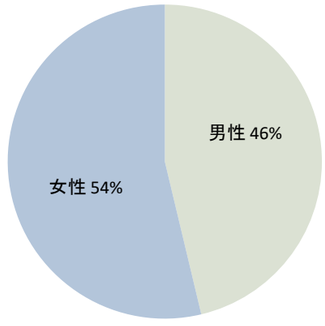
＊分析に必要な標本数については、住民基本台帳人口・世帯数から、「河川に係る環境整備の経済評価の手引き（平成 22 年３月）」による式により算定し、設定した。調査にあたっては、運営会議管内の人口比に対応させて標本数を按分し、収集した。

【毛馬出張所管内回答者属性】

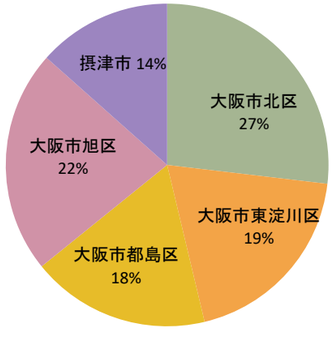
年代別



性別



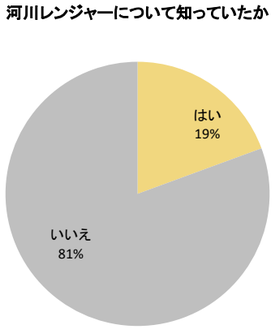
居住地域

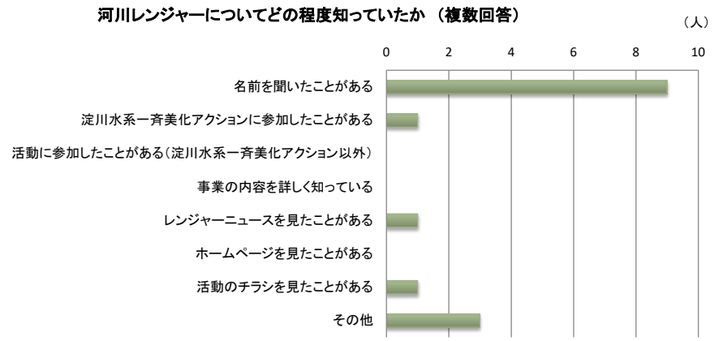


② アンケート調査結果にみる河川レンジャー活動のニーズ

＜河川レンジャーの認知度＞

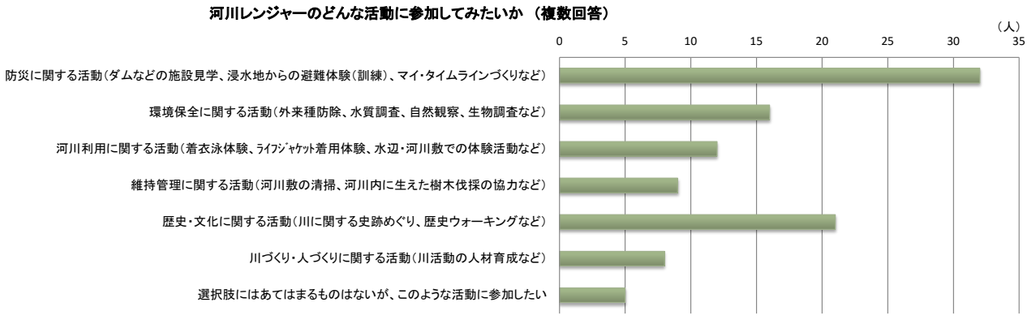
河川レンジャーの認知度は 19%（昨年調査 15%）で昨年よりも向上しており、「名前を聞いたことがある」という方が多数ですが、淀川水系一斉美化アクションに参加したことがあるという方もいます。





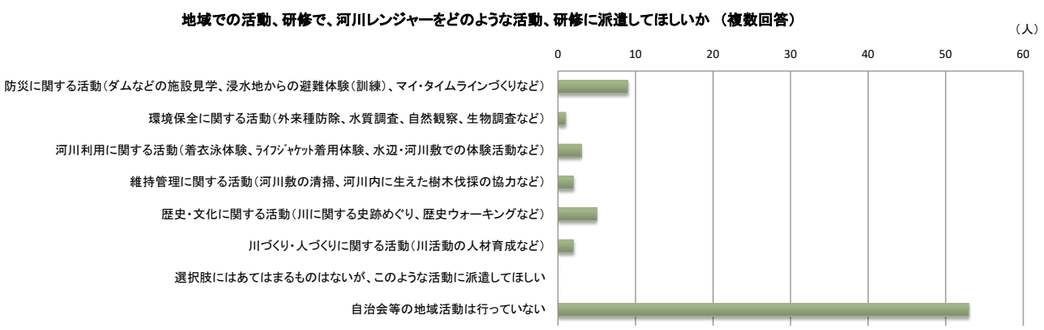
＜参加を希望する活動＞

河川レンジャーの活動内容から抽出した活動メニューに対しては「治水・防災」に関する活動への参加希望が最も多く、次いで「歴史・文化」「環境保全」に関する活動が希望されています。



＜地域活動への支援ニーズ＞

自治会活動等への河川レンジャーの支援ニーズに対しては「治水・防災」「歴史・文化」に関する活動が多くなっています。



（５）地域の河川利用状況から望まれている活動　※視点１の参考情報

当管内では、淀川の適正な河川利用が課題となっており、2 箇所の占有地について「利用者の河川の環境保全に関する意識向上を目的として、河川レンジャーと連携した環境教育のあり方を検討する」（令和７年度淀川本川河川保全利用委員会）とされています。

河川レンジャー活動としては「環境保全」「川づくり・人づくり」の分野での展開が考えられます。

表 4.4　当管内で河川レンジャーとの連携が指摘された占用地

河川	名称	場所	占用目的	許可受者	望ましい利用方針
淀川	運動場	左岸11.0k+120m～ 11.2k+70m	運動場	学校法人 常翔学園	利用者の河川の環境保全に関する意識向上を目的として、河川レンジャーと連携した環境教育のあり方を検討する
	河川敷グラウンド （自然広場）	右岸8.8k＋50m～ 9.0k	運動場	大阪市 東淀川区	利用者の河川の環境保全に関する意識向上を目的として、河川レンジャーと連携した環境教育のあり方を検討する



注）淀川本川河川保全利用委員会資料（令和 7 年 10 月 15 日開催）をもとに作成

図 4.4　河川レンジャーとの連携が指摘されている占用地位置図

（６）河川レンジャーの活動状況【視点２】

①　これまでの河川レンジャー活動状況

毛馬出張所管内では、摂津市の鳥飼ワンドで、再整備されたワンドを地域と連携して保全していく活動が実施されており、今後も継続が望まれます。（「環境保全」分野）

また、自然観察会・魚とり体験の実施や、舟運の歴史等を河川レンジャーが解説する「語り部」を務める活動など、コンテンツの充実を図ることも計画されています。（「環境保全」「歴史・文化」分野）

摂津市と連携して川づくりを進めるにあたり、ワークショップや川に関わる人材の育成なども望まれます。（「川づくり・人づくり」分野の活動）

また、学校から依頼を受けて防災学習が実施されており、今後も地域の学校と連携した活動の継続・拡大に向けて防災分野等の活動が望ましいと考えられます。（「治水・防災」分野の活動）

淀川への興味・関心を高めるための活動としては、生き物観察、毛馬排水機場の見学会等が実施されています。（「環境保全」「河川利用」分野の活動）

主な活動地域は、大阪市内（東淀川区、北区、都島区、城東区）、摂津市です。

活発な活動展開のため、管内のすべての地域で河川レンジャーの配置が望まれます。

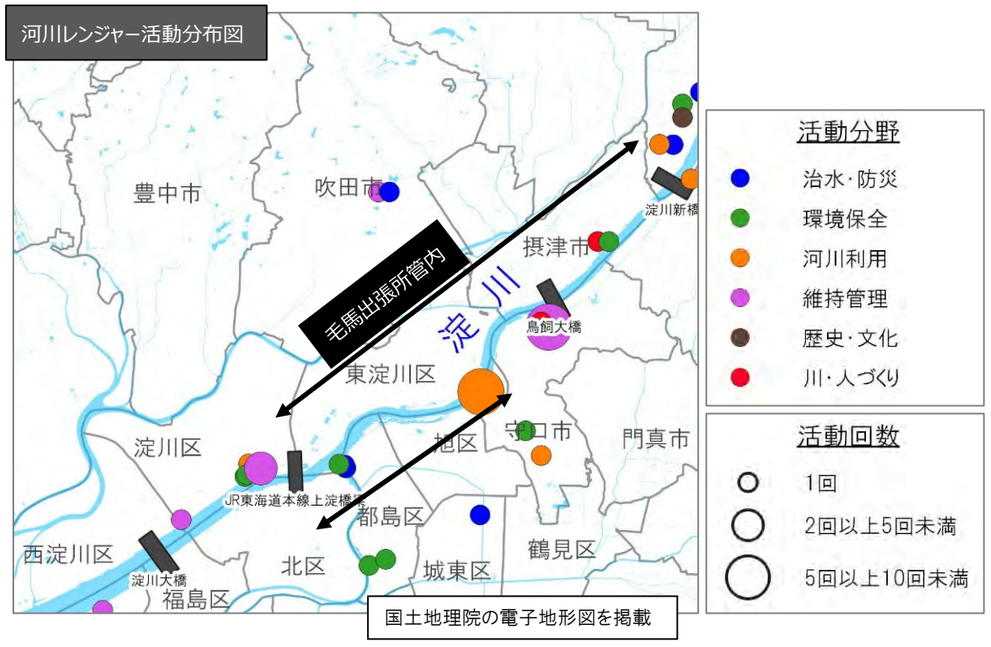


図 4.5　毛馬出張所管内 河川レンジャー活動分布図

表 4.5　毛馬出張所管内の活動状況

治水・防災	環境保全	維持管理
		
防災学習 （波戸 R）	ワンドの保全活動 （伊藤 R）	河川清掃 （伊藤 R、岸田 R、波戸 R）

※主たる活動分野について、活動内容と取り組みを行っている河川レンジャー名を記載しています。

②　令和 8 年度に活動が予定されている分野と地域

来年度は、当管内で 2 名の河川レンジャーが活動を予定しています。予定されている活動について、主要な活動分野、活動地域を分類整理すると下表のとおりです。

令和 8 年度は「治水・防災」「環境保全」「維持管理」の分野で活動が予定されています。

また、活動地域については大阪市北区、都島区、旭区および摂津市での活動が予定されています。

表 4.6　毛馬出張所管内の令和 8 年度河川レンジャー活動予定

氏名	活動名	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり人づくり	大阪市				摂津市	その他
								北区	東淀川区	都島区	旭区		
伊藤　茂	淀川大堰魚道見学		●					●					
	鳥飼ワンド整備（4～5回予定）		●									●	
	大川の生き物観察会		●							●			
	都島区民祭出展		●							●			
	パッタオリンピック		●									●	
	あそ防災	●								●			
	淀川・大川クリーン大作戦2027				●					●			
波戸 睦	摂津市　淀川わいわいガヤガヤ祭　出展		●									●	
	鳥飼ワンド生き物観察会		●									●	
	鳥飼ワンド、赤川ワンド 定期モニタリング（4回）				●						●	●	
	鳥飼ワンドクリーンアップ作戦				●							●	

※複数の分野に取り組む活動は、主要な分野で分類しています。
　また、各活動は計画段階のため、活動分野については事務局の判断で分類しています。

5. 枚方出張所管内における展開計画検討資料

（１）沿川自治体で推進されている事業等【視点１】

沿川自治体の総合計画等では、防災マップの配布等による防災情報の共有化や総合治水対策の推進、各家庭での災害対策（自助）の促進など、防災・減災に関する取り組みが多数推進されており、地域の防災力向上が課題となっていると考えられます。

また、地域の美化活動（アドプトプログラム）の支援や水辺環境の整備と保全、水と触れ合える場の創出など、環境保全に関する取り組みも推進されており、美しい水辺環境等を守り育てていくことが地域の課題となっていると考えられます。

河川レンジャーの活動としては、最も重視する分野として「治水・防災」分野での展開が、次いで「環境保全」「川づくり・人づくり」分野での展開が考えられます。

表 5.1　河川レンジャーとの連携が期待できる沿川自治体の事業等と分野

自治体名	計画名（策定年月）【計画期間】	具体的な取り組み内容	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川・人づくり
枚方市	第5次枚方市総合計画/基本計画（H28.4）【H28～R9年度】	自主防災組織など地域防災力の充実支援	●					
		防災マップの配布などによる防災情報の共有化	●					
		道徳教育や体験学習などによる豊かな心の育成						●
		本市の自然や地域に伝わる歴史・文化など観光資源の情報発信の強化		●			●	
		道路・公園等の地域の美化活動（アダプトプログラム）の支援				●		
寝屋川市	第6次寝屋川市総合計画/後期実施計画（R7年度版）【R6～R9年度】	自主防災組織の支援	●					●
		総合治水対策の推進	●					
		自然環境への意識向上の推進		●				
		水と触れ合える場の創出		●		●		●
		水辺環境の整備と保全		●		●		●
守口市	第6次守口市総合基本計画/前期基本計画（R3.3）【R3～R7年度】	各家庭における災害対策（自助）の実践の促進	●					
		子どもを守るネットワークの確立	●					
		魅力資源としての文化財の保存と活用					●	
		地域コミュニティ協議会の活動支援	●	●	●	●	●	●
		環境配慮行動の促進（環境問題の理解を深める等）		●				
		安全で適切な自転車利用の推進			●			

（２）河川管理者等によって進められている河川事業等【視点１】

① 淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり

河川空間とまち空間が融合したにぎわいある良好な水辺空間の形成を目指す取り組み「かわまちづくり計画」において『淀川河川敷枚方エリア』が令和５年度に登録されました。

当該地区では令和６年度に護岸整備が実施され、今後、レンジャー活動での連携など「河川利用」や「川づくり・人づくり」に関する活動展開が考えられます。

また、この「かわまちづくり」に関しては、淀川沿川全体が一体となって「舟運」を一つのツールとして、それぞれの地域の賑わいを連動させることで沿川地域全体の賑わいを創出していく取り組みが進められており「淀川河川敷十三エリアかわまちづくり」「八幡市かわまちづくり」「伏見地区かわまちづくり」「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり」と連携した展開も考えられます。



図 5.1　淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり整備イメージ
（淀川河川事務所 R6 年度事業概要より抜粋）

② リバーテラスくらわんか（かわまちづくりとの連携）

淀川河川公園枚方地区および多自然池周辺では、堤防上で自然を満喫し、くつろげる賑わい空間の創出を目指す実証実験イベント『リバーテラスくらわんか』が令和４年度から実施されています。

この取り組みは、令和６年度からは「淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり協議会」が主催となり、かわまちづくりや河川敷のオープン化に向けた検討に活かされるものとされており、今後、レンジャー活動での連携など「河川利用」や「川づくり・人づくり」に関する活動展開が考えられます。

③ 枚方・三矢地区他公園整備

淀川河川公園枚方・三矢地区、守口地区、外島地区では令和３年改定の公園整備計画（概ね５年程度で実施が見込まれる内容を記載した計画）において、公園整備の検討・実施が位置付けられています。

整備に際しては淀川の自然環境の保全・再生、淀川らしい利用の促進が求められており、レンジャー活動での連携など「環境保全」や「河川利用」に関する活動展開が考えられます。

④ 下島地区高規格堤防整備

守口市の下島地区（淀川左岸 15k 付近）では令和６年度より高規格堤防の整備が進められていることから、工事の見学会や学習会など「治水・防災」に関する活動展開が考えられます。



図 5.2　下島地区高規格堤防整備箇所
（淀川河川事務所 R7 年度事業概要より抜粋）

（３）意見交換会等で抽出された川の課題【視点１】

河川管理者と河川レンジャーによって実施されている「意見交換会」や「川の現地視察研修」で抽出された川の課題等から、河川レンジャーが連携を図ることが望ましい活動分野を整理します。

① 枚方出張所管内 意見交換会

令和７年６月 17 日（火）に中央流域センターにおいて実施。

② 枚方出張所管内 川の現地視察研修

令和７年 11 月 17 日（月）に枚方出張所管内の淀川河川公園枚方地区（枚方水位観測所・緊急用船着場）、多自然池において実施。

令和７年度の意見交換会および川の現地視察研修で共通認識とされた川の課題、川の課題に関する主な意見等、課題解決に向けた活動状況は以下のとおりです。

表 5.2　川の課題と課題解決に向けた活動状況など（１／２）

川の課題	川の課題に関する主な意見等	課題解決に向けた活動状況（実施予定を含む）
多自然池の保全・利活用	多自然池では伐採後にオオブタクサやクズが繁茂している地区もある。 多自然池やその周辺でナガエツルノゲイトウを確認した。繁茂する前に対策する必要がある。 多自然池出口の柵を撤去したことでゴミが溜まらなくなったが、船だまりは流れがなく水面にゴミが溜まりやすい状態である。 多自然池での活動はレンジャーだけで考えて活動するのではなく、地域住民と一緒に取り組むことによって、地域住民に川づくりをしているという意識が芽生え、川に愛着を持つようになるのではないか。	月１回の河川清掃･淀川をもっと知ろう講座の開催を予定している。
再樹林化防止 伐採木や刈草の有効活用	多自然池周辺の伐採されたエリアでは切り株や根元から芽が出ているのを確認している。	特に無し。
自転車利用者のマナーアップ 河川利用ルールの見直し	令和元年度につくられた河川利用ルールはあるが、自転車のスピード制限については明記されていないため、ルールの見直しや看板の設置が必要。	自転車と歩行者に関する意見聴取を実施している。（実施しているのは毛馬出張所管内） ヒヤリ･ハットマップ等を作成予定である。

表 5.3　川の課題と課題解決に向けた活動状況など（２／２）

川の課題	川の課題に関する主な意見等	課題解決に向けた活動状況（実施予定を含む）
（国が管理する）自転車ゲートの取り替え	自転車ゲートについて、子どもを乗せた自転車や電動自転車等、自転車の形状によっては通りにくいという意見があり、国が管理する自転車ゲートでも利用頻度の高い場所から取り替えを検討している。	レンジャー全体へ情報提供を呼び掛ける。
不法投棄の防止	自転車の不法投棄がある。	河川清掃やマナーアップの取り組みを継続している。
三矢ワンド保全・利活用	三矢ワンドの保全にも取り組む必要がある。	近隣の小学校と連携して自然観察や河川清掃等を実施する。
点野ワンド保全・利活用	淀川ではアユの遡上にあわせて水位が調整されているが、水位を下がると点野ワンド等では、本川と水の行き来がなくなり閉鎖された池のようになって環境が悪化している。	寝屋川地区では、アドバイザーにより活動が継続されている。 なお、活動継続の観点から、寝屋川エリアを重点地区に定めて新規河川レンジャーを募集している。

以上より、当出張所管内での川の課題解決に向けた取り組みとしては、「環境保全」「河川利用」「維持管理」分野での活動展開が望ましいと考えられます。

（４）地域住民のニーズ【視点１】

① アンケート調査の概要

河川レンジャー活動のニーズ把握のため、インターネットを利用して実施したアンケート調査結果から、河川レンジャー活動のニーズを整理します。

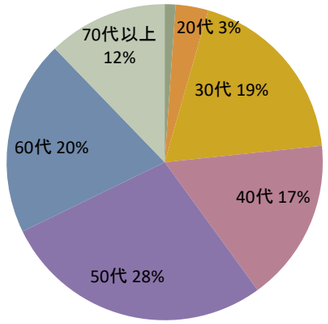
表 5.4　アンケート調査概要

項目	内容
調査期間	令和 8 年 1 月 28 日～29 日
調査方法	Web アンケート
調査対象	淀川沿川住民
全回答数	420
管内回答数	90

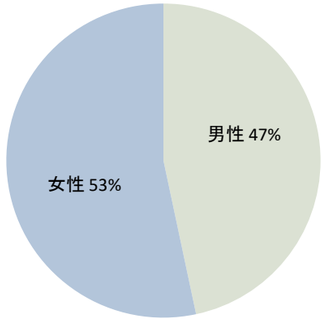
＊分析に必要な標本数については、住民基本台帳人口・世帯数から、「河川に係る環境整備の経済評価の手引き（平成 22 年 3 月）」による式により算定し、設定した。調査にあたっては、運営会議管内の人口比に対応させて標本数を按分し、収集した。

【枚方出張所管内回答者属性】

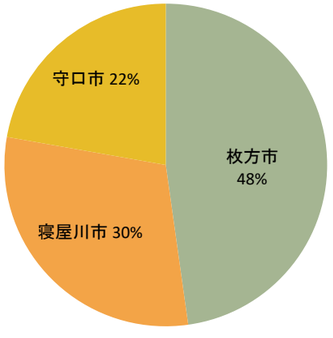
年代別



性別



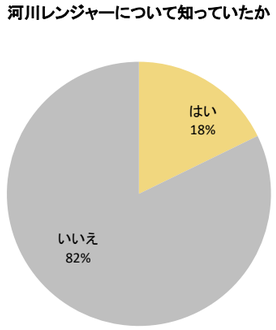
居住地域

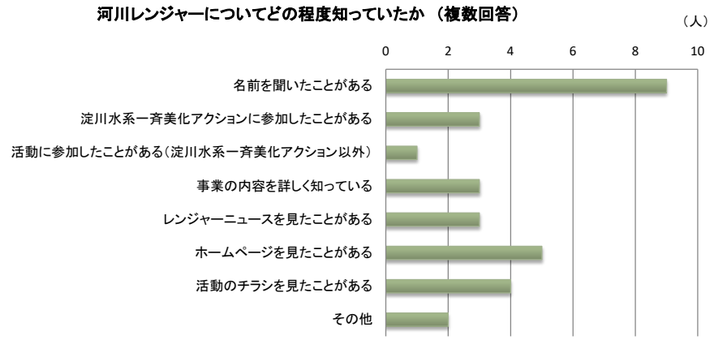


② アンケート調査結果にみる河川レンジャー活動のニーズ

＜河川レンジャーの認知度＞

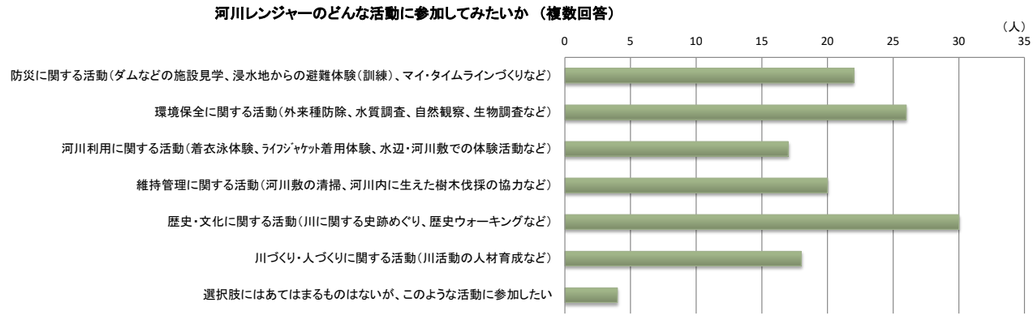
河川レンジャーの認知度は 18%（昨年調査 14%）で昨年よりも向上しており、「名前を聞いたことがある」という方が多数ですが、ホームページやチラシを見たことがある方も一定数います。





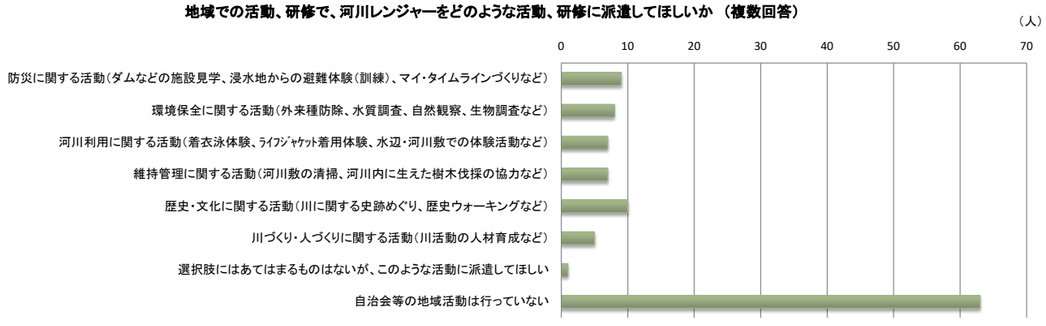
＜参加を希望する活動＞

河川レンジャーの活動内容から抽出した活動メニューに対しては「歴史・文化」に関する活動への参加希望が最も多く、次いで「環境保全」「治水・防災」に関する活動が希望されています。



＜地域活動への支援ニーズ＞

自治会活動等への河川レンジャーの支援ニーズに対しては「歴史・文化」「治水・防災」に関する活動が多くなっています。



（５）地域の河川利用状況から望まれている活動　※視点１の参考情報

当管内では、淀川の適正な河川利用が課題となっており、１箇所の占有地について「利用者の河川の環境保全に関する意識向上を目的として、河川レンジャーと連携した環境教育のあり方を検討する」（令和７年度淀川本川河川保全利用委員会）とされています。

河川レンジャー活動としては「環境保全」「川づくり・人づくり」の分野での展開が考えられます。

表 5.5　当管内で河川レンジャーとの連携が指摘された占用地

河川	名称	場所	占用目的	許可受者	望ましい利用方針
淀川	淀川河川敷グラウンド	左岸27.8k、 左岸31.2k	運動場	枚方市	利用者の河川の環境保全に関する意識向上を目的として、河川レンジャーと連携した環境教育のあり方を検討する



注）淀川本川河川保全利用委員会資料（令和７年 10 月 15 日開催）をもとに作成

図 5.3　河川レンジャーとの連携が指摘されている占用地位置図

（６）河川レンジャーの活動状況【視点２】

①　これまでの河川レンジャー活動状況

枚方出張所管内では、地域の学校・行政・自治会等と連携し、防災、環境、水辺の安全指導等の出前授業が行われています。地域ニーズが高く、今後も継続が望まれます。（「治水・防災」「環境保全」「河川利用」分野の活動）

また、定期的な河川清掃や自転車利用者のマナーアップに向けた意見聴取、庭窪ワンドの保全活動（外来種防除、河川清掃）等、河川の環境保全・維持管理に関わる活動が実施されており、川の課題解決に向けて今後も継続が望まれます。（「環境保全」「河川利用」「維持管理」分野の活動）

主な活動地域は、枚方市、寝屋川市、守口市、門真市です。このうち、枚方市では特に多くの活動が実施されています。

点野ワンド・砂州（寝屋川市）では、河川レンジャーアドバイザーが「点野みんなの水辺づくり」（「環境保全」「川づくり・人づくり」分野の活動）として、月１回の河川清掃活動、外来種防除、自然観察、人材育成などに取り組んでいます。また、守口市の庭窪ワンドでは、定例のワンド保全活動が行われています。一方で、枚方市と比較すると寝屋川市および守口市での活動はやや少ない状況にあります。今後の活動の活性化や継続性の確保の観点から、これらの地域を拠点とする河川レンジャーの配置が望まれます。

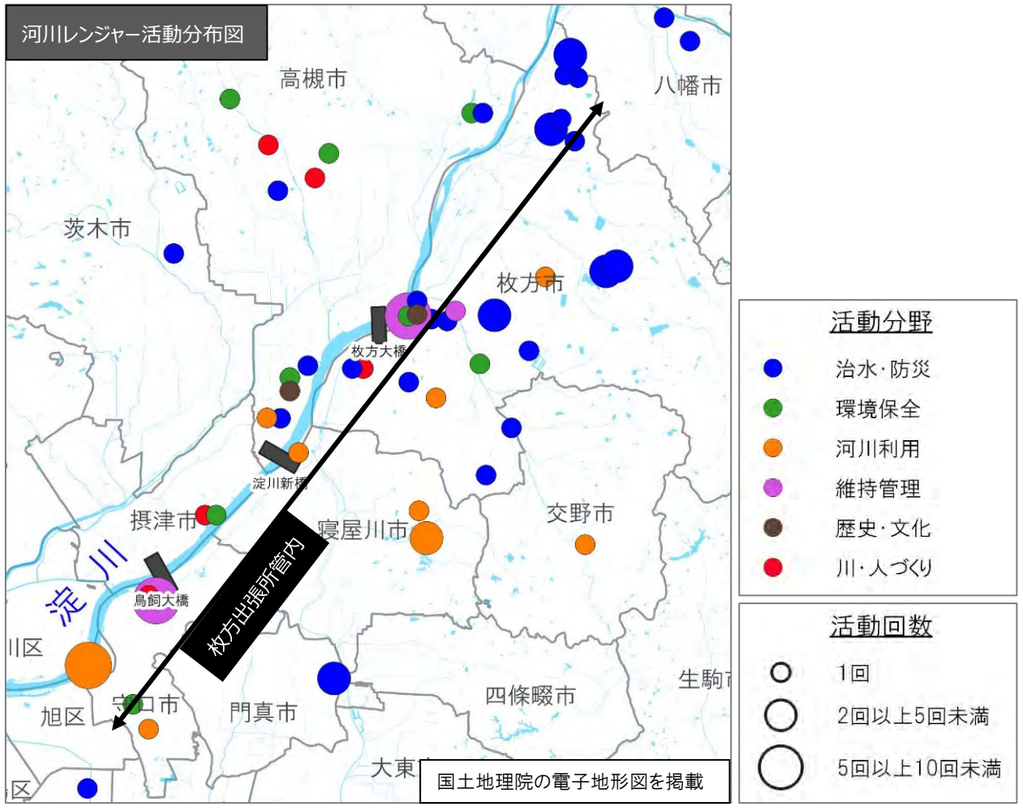


図 5.4　枚方出張所管内 河川レンジャー活動分布図

表 5.6　枚方出張所管内の活動状況

治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	川づくり・人づくり
				
防災講座 （道場 R、岡村 R）	ワンドの保全活動 （天野 R）	マナーアップの活動 （道場 R）	河川清掃 （天野 R、岡村 R）	意見交換 （天野R、岡村R）

※主たる活動分野について、活動内容と取り組みを行っている河川レンジャー名を記載しています。

②　令和８年度に活動が予定されている分野と地域

来年度は、当管内で４名の河川レンジャーが活動を予定しています。予定されている活動について、主要な活動分野、活動地域を分類整理すると下表のとおりです。

令和８年度は「治水・防災」「環境保全」「河川利用」「維持管理」の分野で活動が予定されています。また、活動地域については枚方市、寝屋川市、守口市、大東市などでの活動が予定されています。

表 5.7　枚方出張所管内の令和８年度河川レンジャー活動予定

氏名	活動名	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり人づくり	行政区			
								枚方市	寝屋川市	守口市	その他
道場　明子	自転車と歩行者に関する意見聴取（4回）			●							
	守口市こどもまつり			●						●	
	バッタのオリンピック		●							●	
	淀川さんぽ			●						●	
	寝屋川市立中央図書館　防災講座	●							●		
	みんなで考える淀川の安全な使い方 意見交換会			●							● 未定
岡村　雅広	なごめる水辺づくり（7回）				●			●			
	区民カレッジ　城東校 枚方宿　淀川資料館見学と防災学習	●						●			
	府民カレッジ　学研都市大東校	●									● 大東市
	府民カレッジ　ひらかた校	●						●			
	なごめる水辺づくり 多自然池整備計画について				●			●			
天野　康生	庭窪ワンド保全活動（6回）		●							●	
	庭窪ワンド観察会		●							●	
	庭窪ワンド意見交換会		●							●	
	淀川水系一斉美化アクション				●					●	
土井　宣史	淀川中流域左岸のワンド散策活動		●					●			
	明倫学区住民の防災意識向上活動	●						●			

※複数の分野に取り組む活動は、主要な分野で分類しています。
　また、各活動は計画段階のため、活動分野については事務局の判断で分類しています。

6. 高槻出張所管内における展開計画検討資料

（１）沿川自治体で推進されている事業等【視点１】

沿川自治体の総合計画では、地域環境や淀川等の水辺環境の保全、環境学習に関する指導人材の育成など、環境保全に関する取り組みが複数進められており、良好な自然環境を保全していくことが課題となっていると考えられます。

また、防災力の強化を目的とした防災・減災に関する取り組みが推進されており、地域の防災力向上が必要とされていると考えられます。

その他、市民協働や市民公益活動の推進、住民交流の場としての歴史文化資料館の活用などの取り組みも進められており、地域コミュニティの形成や生涯学習の推進なども課題となっていると考えられます。

河川レンジャーの活動としては、最も重視する分野として「環境保全」「川づくり・人づくり」分野での展開が、次いで「治水・防災」の分野での展開が考えられます。

表 6.1　河川レンジャーとの連携が期待できる沿川自治体の事業等と分野

自治体名	計画名(策定年月)【計画期間】	具体的な取り組み内容	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川・人づくり
高槻市	第6次高槻市総合計画/実施計画（R7.2）【R7～R9年度】	地域防災力の向上	●					●
		地域環境の保全（河川水質の定期測定等）		●				
		コミュニティ活動の推進	●	●	●	●	●	●
		市民協働や市民公益活動の推進	●	●	●	●	●	●
島本町	第5次島本町総合計画（R2.3）【R2～R11年度】	自然環境の保全・活用（水無瀬川・淀川など水辺環境の保全等）		●	●			
		環境学習・啓発の推進（環境学習の充実による環境意識の高揚、指導人材の育成等）		●				●
		環境衛生・美化の推進				●		
		防災力の強化（地域防災力の向上等）	●					●
		生涯学習・社会教育の推進	●	●			●	●
		歴史文化資料館の活用（住民交流の場とした有効活用等）					●	

（２）河川管理者等によって進められている河川事業等【視点１】

① 芥川河道掘削

高槻市を流れる芥川では令和 6 年度より河道掘削が実施されており、工事の見学会や工事の必要性に関する学習会など「治水・防災」に関する活動展開が考えられます。

なお、芥川流域は令和 7 年度に「特定都市河川」および「特定都市河川流域」に指定されたことから、水害に強いまちづくりが今後更に加速されることが予想されます。

② 鵜殿ヨシ原保全

淀川の中でも最大級で、歴史的・文化的・生態的にも重要な場所である鵜殿ヨシ原においては、高水敷の切り下げを行うことでヨシの冠水頻度を高め、ヨシ原の復元・保全を図る取り組みが進められています。

河川レンジャーにおいては、住民と連携したカナムグラの駆除など、ヨシ原保全活動と連携した「環境保全」に関する活動展開が考えられます。



図 6.1　高水敷の切り下げによる鵜殿ヨシ原の保全イメージ
（淀川河川事務所ホームページ／ R7 年度事業概要より抜粋）

③ 唐崎地区ワンド再生

高槻市の唐崎地区では唐崎ワンドの再生が進められており、更なる地域の魅力向上に繋がる「環境保全」に関する活動展開が考えられます。



図 6.2　上空から見た唐崎ワンド群
（淀川河川事務所 R7 年度事業概要より抜粋）

（３）意見交換会等で抽出された川の課題【視点１】

河川管理者と河川レンジャーによって実施されている「意見交換会」や「川の現地視察研修」で抽出された川の課題等から、河川レンジャーが連携を図ることが望ましい活動分野を整理します。

① 高槻出張所管内 意見交換会

令和７年６月５日（木）に高槻出張所において実施。

② 高槻出張所管内 川の現地視察研修

令和７年 12 月 12 日（金）に高槻出張所管内の唐崎ワンドにおいて実施。

令和７年度の意見交換会および川の現地視察研修で共通認識とされた川の課題、川の課題に関する主な意見等、課題解決に向けた活動状況は以下のとおりです。

表 6.2　川の課題と課題解決に向けた活動状況など

川の課題	川の課題に関する主な意見等	課題解決に向けた活動状況（実施予定を含む）
ワンドの保全 ワンド周辺の樹林化防止 ワンドの利活用	三島江野草地区においてヤナギの枝を切り、環状剥皮法を行い、枯死した木を伐採しているが、伐採後の樹木の処理が課題となっている。	大塚地区、三島江地区で河川レンジャーが保全活動を継続していく。 再整備が予定されている唐崎地区においても、今後、活動を検討する。
不法投棄の防止 河川利用のマナーアップ	淀川芥川クリーンアップ大作戦では、芥川の次郎四郎橋から淀川本川までの区間は清掃できていない。拠点を増やして清掃してはどうか。	淀川芥川クリーンアップ大作戦を継続していく。（実施時期を早めることについては高槻市と調整予定。）
水辺の安全利用	河川の安全利用の啓発において、活動の一環で溺れている人を見つけたときの救助法を教えている河川レンジャーもいる。河川の現場で学ぶ代替として、学校の水泳授業を活用し水辺の安全について体験しながら学ぶ授業も実施している。中高生にも機会があれば指導が望ましい。	出前授業で水難事故の事例を紹介するなどし、自分事として捉え、川の危険や身を守る手段を知ってもらえるよう啓発する。（活動時に各レンジャーが取り組む。）
堤防の維持管理（キツネの巣穴等への対策）	河川巡視でキツネの穴が発見されており対策に困っている。キツネは 11 月頃から春先までの間に堤防のあちこちに穴を開ける。早期に発見し、穴を埋めて補修する必要がある。	キツネ等の巣穴を発見した場合は河川管理者へ報告する。

以上より、当出張所管内での川の課題解決に向けた取り組みとしては、「環境保全」「河川利用」「維持管理」分野での活動展開が望ましいと考えられます。

（４）地域住民のニーズ【視点１】

① アンケート調査の概要

河川レンジャー活動のニーズ把握のため、インターネットを利用して実施したアンケート調査結果から、河川レンジャー活動のニーズを整理します。

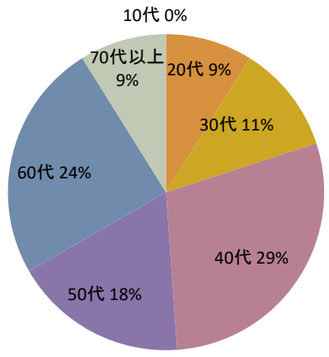
表 6.3　アンケート調査概要

項目	内容
調査期間	令和８年１月 28 日～29 日
調査方法	Web アンケート
調査対象	淀川沿川住民
全回答数	420
管内回答数	45

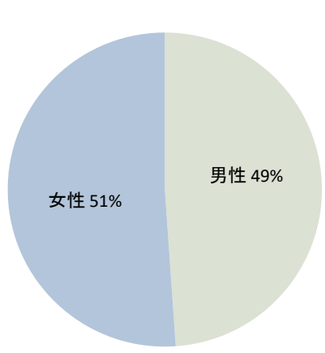
＊分析に必要な標本数については、住民基本台帳人口・世帯数から、「河川に係る環境整備の経済評価の手引き（平成 22 年３月）」による式により算定し、設定した。調査にあたっては、運営会議管内の人口比に対応させて標本数を按分し、収集した。

【高槻出張所管内回答者属性】

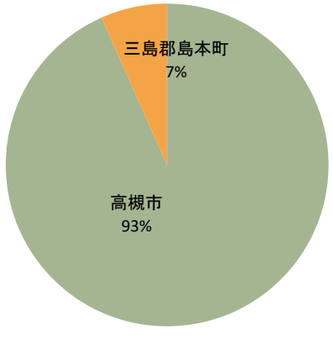
年代別



性別



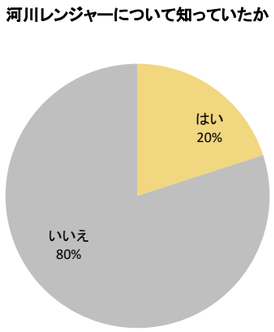
居住地域

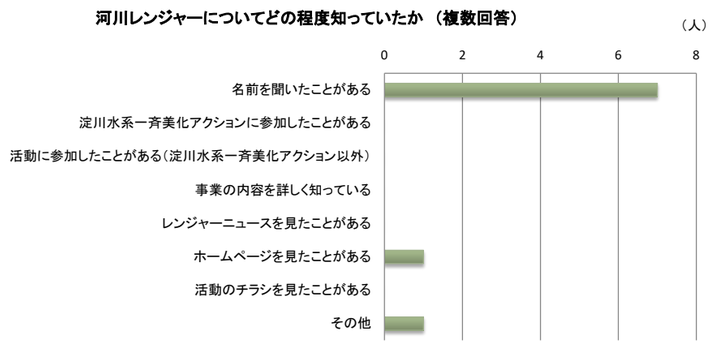


② アンケート調査結果にみる河川レンジャー活動のニーズ

＜河川レンジャーの認知度＞

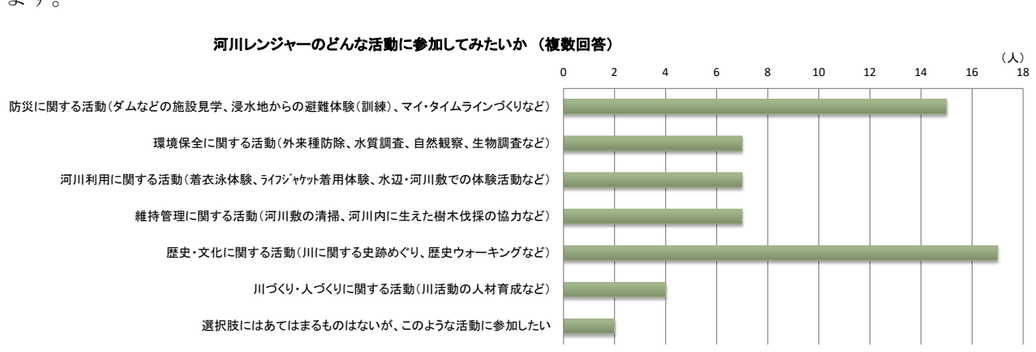
河川レンジャーの認知度は 20%（昨年調査 22%）であり、「名前を聞いたことがある」という方が多数ですが、ホームページを見たことがあるという方もいます。





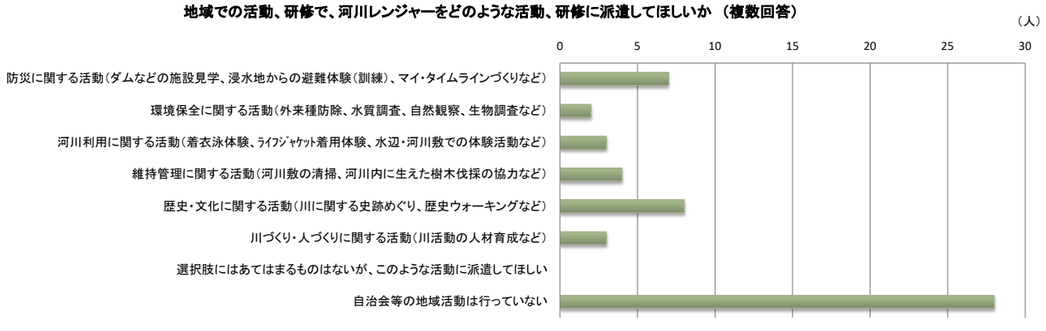
＜参加を希望する活動＞

河川レンジャーの活動内容から抽出した活動メニューに対しては「歴史・文化」や「治水・防災」に関する活動への参加希望が多く、次いで「環境保全」「河川利用」「維持管理」に関する活動が希望されています。



＜地域活動への支援ニーズ＞

自治会活動等への河川レンジャーの支援ニーズに対しては「歴史・文化」「治水・防災」に関する活動が多くなっています。



（５）河川レンジャーの活動状況【視点２】

① これまでの河川レンジャー活動状況

高槻出張所管内では、地域の学校・公民館等と連携し、治水・防災、環境学習等の出前授業が行われています。地域ニーズが高く、今後も継続が望まれます。（「治水・防災」「環境保全」分野の活動）

管内には、再整備された唐崎ワンドの他、大塚地区、三島江地区にもワンドがあり、これらを地域住民と連携し、保全していく活動が望まれます。（「環境保全」分野の活動）

また、歴史・文化分野は、地域ニーズが高いものの活動が少ないため活動に取り組む河川レンジャーの配置が望まれます。水害の歴史について学ぶ歴史探訪等をきっかけに、防災への関心を高め地域の防災力向上に向けた活動展開が考えられます。（「歴史・文化」分野）

主な活動地域は、高槻市です。島本町では、１月に防災訓練への協力、２月に河川清掃が予定されています。

活発な活動展開のため、管内のすべての地域で河川レンジャーの配置が望まれます。

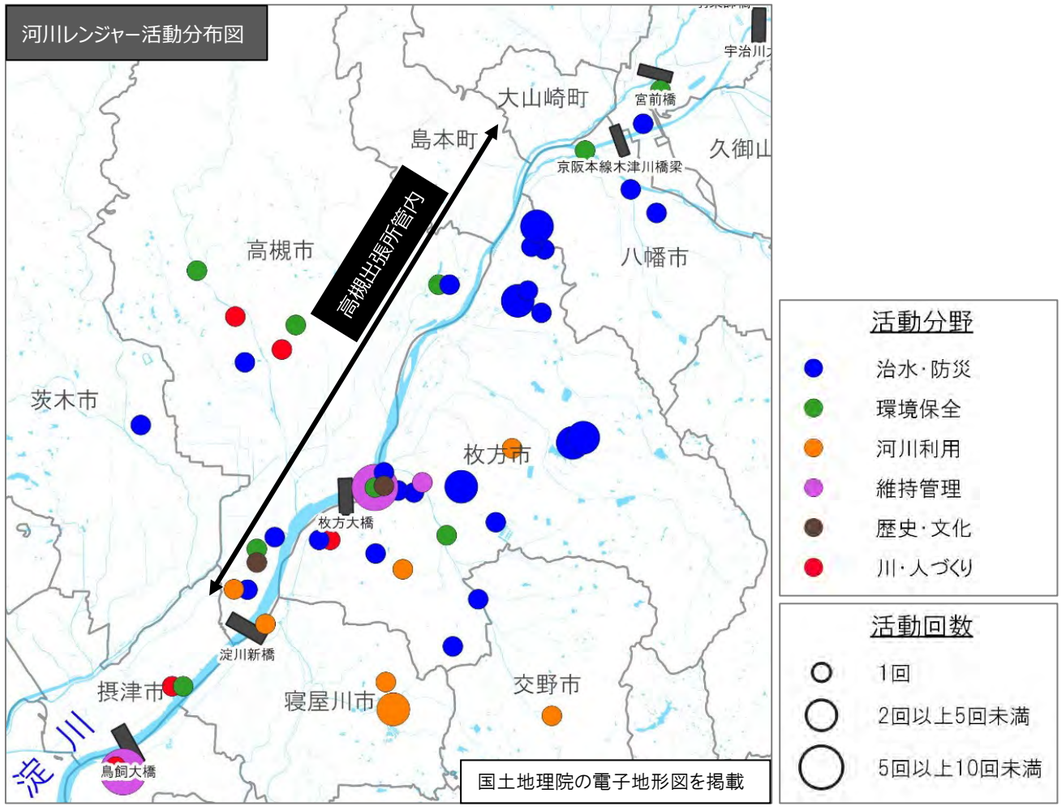


図 6.3　高槻出張所管内 河川レンジャー活動分布図

表 6.4　高槻出張所管内の活動状況

治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川・人づくり
					
防災講座（杉本R、竹本R、奥山R）	自然観察会（杉本R、竹本R）	河川清掃（小林 R）	河川清掃（杉本R、竹本R、奥山R）	歴史探訪（竹本 R）	人材育成（杉本 R）

※主たる活動分野について、活動内容と取り組みを行っている河川レンジャー名を記載しています。

② 令和８年度に活動が予定されている分野と地域

来年度は、当管内で５名の河川レンジャーが活動を予定しています。予定されている活動について、主要な活動分野、活動地域を分類整理すると下表のとおりです。

令和８年度は「治水・防災」「環境保全」「河川利用」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」の全ての分野での活動が予定されています。

また、活動地域については高槻市、摂津市、吹田市、大津市などでの活動が予定されています。

表 6.5　高槻出張所管内の令和８年度河川レンジャー活動予定

氏名	活動名	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり人づくり	行政区		
								高槻市	島本町	その他
杉本 真一	川の学習会～川スタ～（6回）	●	●					●		● 摂津市
	高槻ジュニア河川レンジャー（6回）						●	●		● 滋賀県大津市
	淀川水系一斉美化アクション（高槻ジュニア河川レンジャー）				●			●		
竹本 克巳	春の淀川とその周辺を歩く（淀川フィールドワーク）					●		●		
	防災体験学習会～地域の水害について考えてみよう（2回）	●						●		
	環境学習～自然とのふれあい（三島江公園）野鳥探索		●					●		
	川の施設等の見学会	●								● 未定
	意見交換会の開催（対応の合意形成）～環境学習～自然とのふれあい（三島江公園）野鳥探索～		●					●		
奥山 佳一	川ゴミのゆくえについて知ろう（出前授業）		●							● 吹田市
	淀川の作り変えについて知ろう（出前授業）						●			● 吹田市
	河川に生息している生物を通して水生生物観察会		●							● 未定
小林 勝男	地域連携で淀川の安全を考えよう	●						●		
	水辺の安全授業「着衣泳　浮いて待て」			●				●		
竹本 晃佑	着衣泳・ライフジャケット体験			●						● 島本町、高槻市、茨木市、摂津市のいずれか
	唐崎ワンド現地学習会（2回）				●			●		
連携活動	タマリ生き物観察会～自然とのふれあい（三島江野草地区）～		●					●		
	淀川・芥川クリーンアップ大作戦				●			●		
	防災指導員対象防災学習	●						●		
	水辺の安全学習			●				●		
	公園管理者への報告会	●						●		

※複数の分野に取り組む活動は、主要な分野で分類しています。
また、各活動は計画段階のため、活動分野については事務局の判断で分類しています。

令和 7 年度 淀川管内河川レンジャー活動分布図（2025 年 4 月～2025 年 12 月）【全活動範囲】

活動分布図は、河川レンジャーの活動報告をもとに主たる活動分野を事務局の判断で分類し、色で活動分野を、円の大きさで活動回数を示しています。

なお、この活動分布図は令和 7 年度（4 月～12 月）に実施された河川レンジャーの活動を対象に作成しています。当該期間においては全管内で 144 回の活動が実施されています。（河川レンジャーアドバイザーのみで実施された活動は回数に含んでいません）

